

3 どんな本がおすすめ？

子どもの好きなものや遊びなど、身近なことが取り上げられている本はいかがですか。一度に長い物語を読もうとしないで、遊びの要素がある本や、子どもが興味を持っているジャンルの本を読んでもみるのもいいかもしれません。

大阪府では、本を読むことが苦手な子どもと一緒に読んで楽しめる本を紹介するブックリストを作成しています。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoku/libreso/booklist.html>



このブックレットでは、その中から3冊を紹介します。ブックリストには、ほかにもたくさん本を紹介しています。また、子どもに励ましを伝えられる本や、困難な境遇にある子どもが登場する本も掲載していますので、是非ご活用ください。

【声に出して楽しい本、日本語の音やリズムを楽しむことのできる本】

『あいうえおうさま』 (理論社版新しい絵本)

寺村輝夫／文 和歌山静子／絵 1979年1月 理論社 1000円＋税

「あ」から「ん」まで50音順に1ページずつ、その文字から始まる4行の文と絵で構成されています。例えば「あ」では、「あいうえおうさま、あさのあいさつ、あくびをあんぐり、ああおはよう」という文に、欠伸をする「おうさま」、雨、アザラシ、朝顔、穴、蟻などが描かれています。声に出しても、絵から言葉を見つけるのも楽しい絵本です。



【食事をしたり、料理をしたときに、楽しむことができる本】

『おにぎり』（幼児絵本シリーズ）

半山英三／ぶん 半山和子／え 1992年9月 福音館書店 900円＋税

ごはんをたいて、手の平に水をつけて、塩をつけて、あつあつごはんをぎゅっ。まんまかに梅干をうめて、ぎゅっ、ぎゅっ。

手の中でくるっ、くるっ、くるっと回して、海苔を巻けば、おいしそうなおにぎりのできあがり。おにぎりができるまでを丁寧に描いてあり、思わず手をのばして食べたいとなると同時に、自分でも作ってみたいくなります。

【自然の中で活動したり、自然観察をしたときに楽しむことのできる本】

『おちばのしたをのぞいてみたら…』（はっけんたんけんえほん2）

皆越ようせい／写真と文 2000年8月 ポプラ社 1200円＋税

森や林の落ち葉の下には、何がいるのでしょうか。落ち葉を食べるミミズ、ミミズを食べるアリなど、降り積もった落ち葉の下には、さまざまな種類の生きものや細菌がいて、落ち葉を分解したり土にししたりしながら森や林を守っています。クローズアップされた写真を見ながら、いのちのつながりや環境について考えるきっかけになります。

発行 大阪府教育委員会（2018年3月発行）

お問合せ先 市町村教室 地域教育振興課

電話 06-6944-9372（直通）FAX 06-6944-6902

ホームページ <http://www.pref.osaka.lg.jp/chikikyoku/shokai.html>

（文部科学省「図書館資源を活用した困難地域等における読書・学習機会提供事業」委託事業）

このブックレットは、5,500部作成し、一部あたりの単価は12円です。



©2014 大阪府もずやん